

教科（科目の種類）	学科名	学 年	単 位 数	履 修 期 間
公民科	普通科	3 年	2 単位	通年・2 カ年
	科 目 名	時事社会		

目 標	<p>1 現代社会の諸課題について、政治・経済、社会・文化・倫理などさまざまな観点から探求し、時事的な問題を切り口に、現代社会に対する興味・関心を高める。</p> <p>2 資料の収集方法や活用の仕方、レポートのまとめ方、ディベートや討論の方法、メディアやインターネットの利用法、プレゼンテーション、小論文の書き方などの学び方（スキル）を身に付けさせる。</p> <p>3 現代社会について多角的な視点から考察させるとともに、現代社会と自己との関わりに注目させ、いかに生きるかを主体的に考えさせる。</p>
-----	---

概 要	<p>【1】現代に生きる私たちの課題 ○SDG s について</p> <p>【2】SDG s を自分事にしよう ○プレゼンテーション</p>
-----	--

	月	単 元 名	学 習 内 容 概 要
授 業 計 画	一 学 期 四 五 六 七	第1章 私たちの生きる社会 ○SDG s について	<ul style="list-style-type: none"> ・SDG s とは何か、どうしてこのようなゴールが設定されているのかについての概要的な学習を行う。 ・書籍や新聞記事等を活用し、貧困が生み出す影響、世界が抱える課題、身近な課題と順を追って考える学習を行う。 ・インタビューを行い、教育の課題、ジェンダー不平等、水とトイレの安全性について、世界が抱える課題、身近な課題と順を追って考える学習を行う。 ・ニュース映像や書籍、新聞記事などを活用し、クリーンエネルギー、経済成長、産業と技術革新について、世界が抱える課題、身近な課題と順を追って考える学習を行う。 ・議会訪問や身近な大人へのインタビューを行い、まちづくりについての課題を考える学習を行う。 ・家庭科と関連させて、消費行動の事例検討を行う。 ・フィールドワークを通して身近な環境問題について考える学習を行う。 ・書籍や新聞記事等を活用し、国際社会の現状の理解と平和な社会を形成するためにどうすればよいかを考える学習を行う。 ・SDG s 1 7 の目標の中で特に関心のあるテーマを選び、それについて自分の考えを述べる学習を行う。
		1 貧困をなくすために	
		2 飢餓をゼロに	
		3 すべての人に健康と福祉を	
		4 質の高い教育をみんなに	
		5 ジェンダー平等を実現しよう	
		6 安全な水とトイレを世界中に	
		7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	
		8 働きがいも 経済成長も	
	9 産業と技術革新の基盤をつくろう		
	二 学 期 一 一 一 一 一	10 人や国の不平等をなくそう	<ul style="list-style-type: none"> ・SDG s とは何か、どうしてこのようなゴールが設定されているのかについての概要的な学習を行う。 ・書籍や新聞記事等を活用し、貧困が生み出す影響、世界が抱える課題、身近な課題と順を追って考える学習を行う。 ・インタビューを行い、教育の課題、ジェンダー不平等、水とトイレの安全性について、世界が抱える課題、身近な課題と順を追って考える学習を行う。 ・ニュース映像や書籍、新聞記事などを活用し、クリーンエネルギー、経済成長、産業と技術革新について、世界が抱える課題、身近な課題と順を追って考える学習を行う。 ・議会訪問や身近な大人へのインタビューを行い、まちづくりについての課題を考える学習を行う。 ・家庭科と関連させて、消費行動の事例検討を行う。 ・フィールドワークを通して身近な環境問題について考える学習を行う。 ・書籍や新聞記事等を活用し、国際社会の現状の理解と平和な社会を形成するためにどうすればよいかを考える学習を行う。 ・SDG s 1 7 の目標の中で特に関心のあるテーマを選び、それについて自分の考えを述べる学習を行う。
		11 住み続けられるまちづくりを	
		12 つくる責任 つかう責任	
		13 気候変動に具体的な対策を	
14 海の豊かさを守ろう			
15 陸の豊かさを守ろう			
16 平和と公正をすべての人に			
17 パートナリシップで目標を達成しよう			
三 学 期 一 二	第2章 SDG s を自分事にしよう ○プレゼンテーション1	<ul style="list-style-type: none"> ・SDG s とは何か、どうしてこのようなゴールが設定されているのかについての概要的な学習を行う。 ・書籍や新聞記事等を活用し、貧困が生み出す影響、世界が抱える課題、身近な課題と順を追って考える学習を行う。 ・インタビューを行い、教育の課題、ジェンダー不平等、水とトイレの安全性について、世界が抱える課題、身近な課題と順を追って考える学習を行う。 ・ニュース映像や書籍、新聞記事などを活用し、クリーンエネルギー、経済成長、産業と技術革新について、世界が抱える課題、身近な課題と順を追って考える学習を行う。 ・議会訪問や身近な大人へのインタビューを行い、まちづくりについての課題を考える学習を行う。 ・家庭科と関連させて、消費行動の事例検討を行う。 ・フィールドワークを通して身近な環境問題について考える学習を行う。 ・書籍や新聞記事等を活用し、国際社会の現状の理解と平和な社会を形成するためにどうすればよいかを考える学習を行う。 ・SDG s 1 7 の目標の中で特に関心のあるテーマを選び、それについて自分の考えを述べる学習を行う。 	
	○プレゼンテーション2		
	○1年間のまとめ		

評 価 の 観 点	現代の社会と人間にかかわる事柄に対する興味・関心を高め、そこから課題を見だし、自ら多面的多角的な視点に立って思考・判断することができているかについて、「授業・課題への取り組み状況」および「提出物」「積極的に授業参加・時事問題を知ろうとする態度」など総合的に評価する。
-----------	---

教 材	教科書：第一学習社「高等学校改訂版 現代社会」（現社 321） 副教材：とうほう「フォーラム現代社会2022」
-----	--

注 意	※1. ファイルを各自で用意する。 ※2. 授業の評価はテスト、課題、提出物、授業態度等で行う。
-----	---

